

スマホスキル認定アプリ開発等委託業務

〈審査基準〉

審査項目	配点	審査の視点
検証用のコンテンツ作成	100	コンテンツは事業目的に資するものとなっているか。
		コンテンツは高齢者等にも見やすく、操作しやすい工夫がされているか。
		スマホ教室等を運営する者にとって利用しやすい工夫がされているか。
		受講者の正答率が表示できるなど、利用者のスマホスキルレベルが把握しやすい工夫がされているか。
		正答率に応じて認定画面が表示されるなど、受講者のモチベーション向上につながるような工夫がされているか。
		無料で利用できるなど、コンテンツの利用者が手軽に利用できるものとなっているか。
		問題の追加作成及び修正が容易に行うことができるものとなっているか。
		個人情報等を適正に管理できるものとなっているか。
コンテンツの、検証、改善方法	40	検証方法は、作成した問題が設定したレベルと比較できるものとなっているか。
		検証方法は、受講者の使用感や捜査官の妥当性が判断できるものとなっているか。
		検証方法は、運営側の使用感や操作感の妥当性が判断できるものとなっているか。
		検証方法は、参加者を集めることができる方法となっているか。
業務実施体制の確保	20	本業務を実施する体制が適当であるか。
		本業務を受託するにあたってのこれまでの実績を踏まえた課題認識が適切で、自社の強みが本業務に活用できるか。
その他提案事項	30	当業務の主旨・目的を理解し、より効果的に実施するための独自の提案がなされているか。
見積価格	10	得点算出方法： $A \times C / B$ A=10、B=当該業者の見積価格、C=最安価業者の見積価格 ※小数点以下は小数点第一位で四捨五入